

サービス改善計画書

策定日：令和5年1月31日
 事業・サービス名：保育所サービス
 施設・事業所名：大津市立堅田保育園

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
Ⅲ-4 安心・安全な保育の提供 Ⅲ-4-(1) 安心・安全な保育の提供のための組織的な取組が行われている 23. ③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	・防災計画に基づいて、防災マップも用いて、避難訓練時に避難経路、避難場所の確認をしている。また、防犯教室を通して地域の防犯組織や警察とのつながりは出来た。一方で、防災計画における地域との共有、自治防災との連携は、昨年度同様に感染症予防の為にできにくく、課題となっている。	・自治防災との連携を取り、園内で出来ることと、地域協力を依頼したいことを明確にしていく。保育園からの地域貢献を含め、地域の防災に関する方針や計画を理解していく。	令和5年度中に	園長 (代表保育士)	
V 地域貢献 V-1 地域の福祉向上のための取組 V-1-(2) 地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動を行っている 38. ② 災害発生時には、福祉避難所として、地域住民の福祉のために貢献する体制を構築している。	b	・災害時において、福祉避難所としての運営等については大津市で検討中である。地域の中での役割を担い、防災マップで職員に周知しているが使命や役割等の確認が必要である	・災害発生時を予測して、園内で出来ることと地域協力を要請したいことを明確にしていく。 ・地域ネットワークのなかで、地域防災組織と連携を取り合い、相互に貢献できる体制を発信していく。	令和5年度中に	園長 (代表保育士)	
A 保育内容 A-2 環境を通して行う保育 A-2-(3) 健康管理 48. ① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b	・子どもの健康状態について、園では十分留意し、職員間でも知識の共有や連携をして適切な健康管理に努めている。SIDS に関して、職員間で知識を共有し保護者には保健だより、ポスター掲示等で情報提供しているものの、学習会の実施や午睡チェックセンサーの説明が詳細に出来ていない現状にあり、課題と考えている。	・入園時に、園での乳幼児の睡眠時の状況把握と異常事態に早期対応できるように 午睡チェックセンサーを利用していることを丁寧に説明し、納得、理解をしてもらう。睡眠表と合わせ安心・安全な睡眠環境をととのえながら園、家庭が連携し、子どもの健康管理に努められるようにしていく。	令和5年度中に	代表保育士 (クラスチーフ・園長)	